



日産スタジアム 運営ボランティア

# 平成18年度全員集会(第2回)開催

平成19年2月12日、日産スタジアム301号室において運営ボランティア平成18年度第2回全員集会が木村副場長とマリノス(株)中村取締役のご臨席を賜り、96名の参会者のもとに開催されました。

## 木村副場長のお話

皆さんこんにちは 昨年は日産スタジアムにとって大きな出来事がありました。ひとつは、4月から指定管理者制が導入されました。それから新横浜公園の経営を私どもスポーツ振興事業団と、横浜マリノスさん、ハリマビシステムさん、JV3社のグループで行っていくことが昨年一番の大きな変化だったことです。もうひとつは、8月から北側園地といっている新横浜・元石川線の鶴見川沿いの部分がオープンして、野球場・運動公園・投てき練習場が出来ました。今年のスケジュールについては、基本的には例年と大きく変わりません。大きく変わるのは横浜FCがJ1に昇格したことです。マリノスさんのホームゲームのほかに、横浜FCのホームゲームが6試合ほど入っています。年間スケジュールを見ると、今までですとマリノスさんの試合が隔週ごとであり、その間の週については一息つけるという感じでしたが、今年の場合は毎週Jリーグが入ってくるというシーズンになるのかと思います。98年の国体にボランティアさんの募集が始まって、それから今日まで経ったわけですが、ちょっとメンバーが固定化され少なくなってきたように思われます。これからの課題として新しいメンバーをどうやって募集していくかと思っております。これから1年が始まります。日産スタジアムを皆さんで支えていって頂きたいと思っております。



## 中村取締役のお話 (要約)

皆さんこんにちは まず、昨年来チームの色んなご心配を戴いている件について私どものプラン・方針についてのご説明と、私どもが考える ボランティアとはについて、少し触れさせていただきます。

ひとつは、一昨年から連続9位という、チームの成績をどのようにしたらもう一度チャンピオンに返り咲けるかと真剣に議論を重ねてきました。一つの方向性として、限られた予算の中でいいパフォーマンスをするチームを作るには二つの方法がある。飛びぬけた外国人、キープレイヤーを連れてきて、普通であればチーム30人に10という資源〔資金〕をそれぞれに割っていく事が一番良いのですが、それですと、突出したチームが作りにくい。では非常に良い選手5人を高く付いてもよいから連れてきて揃えて、残り25人は一生懸命やる選手を揃えるというやり方もある。尚且つチーム一回や二回で優勝に満足するのではなく、常に優勝できる、又優勝争いに残れるチーム、最後の最後まで少なくともベスト3にあるいは、5本の指に入っていくようなそういった力をもつチームを作るにはどうしたらよいか、という事で今年選手の若返りをしました。



私達は今年は自信を持って戦って行けるのではないかと、ということを皆さんにお約束いたします。

ふたつめは、ボランティアに対する考え方。私もサッカーの仕事でワールドカップ、海外の大会を見てきて、よく思うのはヨーロッパではもう会場の中に(シミズ・ニッソウのような)プロの係員の仕事はあまり無いのです。警備は警察それ以外の係員の方はスチュワードなどの名称のボランティアの方々が運営をおこなっている。どうしてこの様なことが出来るかというと、社会の制度が全く違う。特にアメリカなどですと、学校にボランティア講座があり、色んな研修をすると、学校の単位になる。そうした国としては、教育としてボランティア活動を非常にみとめています。学生も課外研修の形でいろんなボランティアに参画する。そこでその履修の証明を貰うと学校に帰ってその単位をもらえるという仕組みになっている。2年程前に、県教育長とお会いする機会があり「神奈川県だけでも高校の3年生、2年生に社会貢献活動、あるいは社会の活動としてそういった講義を持たせる事は出来ないか」とお願いしてみました。

## 平成18年度全員集会(第2回)議事録

平成19年2月12日 13時~15時 301号室

議案審議 座長選出、リーダー部会川口氏を選出 座長より出席者数等の確認要請。事務局が報告。  
本日現在の登録者総数 328人 ・委任状〔運営委員長に一任〕 163名 ・出席者 96名

### 【議案1】運営ボランティア活動の改善点について

・横塚運営委員長より、議案書に基づき説明

意見・ 集合時間の変更で、集合時間を開門の1時間30分前、キックオフの3時間前にすることで調整しているとなっているが、これまではキックオフ何時間前と頭に入っている、統一してほしい。

回答・ 統一するように致します。

意見・ 新規登録メンバーの固定化によるコミュニケーションの促進で伺う。私の知り合いで、昨年、紹介して入ってもらった。同じ活動場所に配置となり非常にいやな思いをしたといっていた。(この制度は)今年の新人だけなのか、昨年入った人も含めての新人とするのか。

回答・ 昨年は、17年度、18年度の人を集めて、2回同じグループで活動をしてもらいました。今後とも要望によっては17年度、18年度の新しい人も、19年度の人と一緒に固定化したグループで半年ほど試行していきたいと思っております。

意見・ インセンティブに関して、ポイント制を採用したいとのことだが、ポイント制は運営委員会が検討するのではなく、競技場、又はマリノスが検討するべきではないか。ポイントがほしいから活動に出で来るというのはどうか思う。

回答・ 意見として賜ります。運営委員会として、競技場及びマリノスと一緒に検討する項目とします。

意見・ ボランティアの活動範囲を広げる、登録者人数も増やす、とあるが、それよりもボランティアの再教育をして、質の高いボランティアを作り、その上で人数を増やし活動範囲を広げる方が良いのではないかと。

回答・ ボランティアの質の向上は目指していかなければなりません。そのために皆様方からどうしたら質の向上が図られるか、良い知恵がありましたら是非ご提案してください。

以上色々なご意見が寄せられましたので、今後の運営委員会としてはご意見を参考として、検討してまいります。

・座長から本件を了承するかを問い掛けがあり、異議なしの声を持って了承された。

### 【議案2】運営委員会規約(案)の審議と承認

・安田副委員長より運営委員会規約(案)について説明。

意見・ 規約の第2条で、委員は自薦又は他薦より選出する。となっている。申込みの方法が良くわからない。はっきりとさせてほしい。

回答・ 規約文章に載せてはいませんが、申込み方法をはっきりと致します。

意見・ 委員の申込みにおいて、委員長がその権限を持っているのか。

回答・ 委員の申込みは、自薦、他薦に関わらず委員長宛に申し込んでください。

意見・ 委員長・副委員長は総会で承認を得となっている。議案1の報告資料には総会の時期が7月となっているが、本日の集会での承認と、7月総会での承認とのタイミングよく分からない。

回答・ 昨年7月の集会で運営委員会設立の承認を得た時、自薦・他薦で運営委員として活動している者については今回の集会で承認を得る、となっていました。今後については未定ですが、2月と7月に総会を行ないたいと考えています。2月、7月のどちらかを定例総会、どちらかを臨時総会として行きたいとの案で検討していきます。

・座長より本案を了承するかを問い掛けがあり、拍手多数を持って可決された。

### 【議案3】運営委員会委員の承認

・横塚運営委員長より運営委員の承認について議案を説明

・9名の委員候補の人たちが前に出て自己紹介

・座長より本案を了承するかを問い掛けがあり、拍手多数を持って可決された。

- ・ 座長から運営委員の募集について説明
- ・ 現在9名の委員で、定数が不足しています。規約では10～15名で構成するとなっています。私がやります、という方が居られましたら委員長まで連絡してください。
- また、運営委員会会議にオブザーバーとして会議に出席希望の方も委員長まで連絡ください。

【議案4】運営ボランティア総会の必要性について

- 意見・ 横塚運営委員長より総会の必要性についての議案を説明
- 意見・ 本日の集まりは全員集会となっている。今後承認されれば総会という名称で委員会は意志統一されているのか。
- 回答・ 名称にはこだわっていませんが、承認されればこれからの集まりは、総会という名称で提案しています。
- 意見・ 集会と総会の違いがあるのではないかと。集会は同じ考えの人が集まって会を開くとあり、総会はある団体とか、利害関係、上下関係の集まりが総会ではないかと。ボランティアは利害、上下関係は無く同じ考えの集まりなので集会の方が良いのではないかと。
- 回答・ 総会の必要性について、その理由を3つ挙げています。
  - 1、運営ボランティアの総意を示す機関
  - 2、運営委員会の執行状況を監視する機関
  - 3、委員を選任する機関
 以上の理由で総会が必要であり、総会という名称で提案させていただいています。

- 意見・ 総会となると圧力団体になるのではないかと。
- 回答・ 圧力団体にはなりません。
- 意見・ 私達は組織の構成員の一員です。集会の名称にこだわって、案件を運営委員会に丸投げしてそれに従うということではなく、ここに提案されているように総会として皆で決めていくことが良いボランティア活動にするために必要と思う。固苦しいけれど役割を決めてきちんとした体制にしたほうが良い。
- 意見・ 総会としても、ボランティアの集まりは上下関係を作るようにはならない。ボランティア活動をスムーズに運営していくには役職なり、規約なりを作成していく事が必要ではないかと。9年目に入るが今まで部会とか集会で要望、クレーム等は出されたが、それらについて総意を図ることがなかった。よって総会は必要である。

- 意見・ スポーツ振興事業団より委嘱を受けてはいるが、独立した機関ではないので集会でよいのでは。
- 意見・ 以前交通費が2000円から1000円に、活動体制も126人から156人となった。どの様な経緯でこのようになったのか。また、このようなことは集会と総会でどの様な違いが出てくるのか。

- 回答・ 今までは、交通費が2000円から1000円に、活動体制が126人から156人になったとき、ボランティア側に何の議論は無く、総意を持つという事もありませんでした。こちらの意向は一切聞かれていません。今後は我々から総意にて、競技場やマリノスさんにお問い合わせ、相談、提案が出来るようになります。

- 意見・ 競技場より委嘱を受けている。団体交渉するために総会という名称にこだわっているのか。この席上に競技場の木村副場長さんが居られるので競技場としての考えをお聞きしたい。

- 座長・ 木村副場長さんお願いいたします。 木村副場長（別紙）
  - ・ 座長より採決に入るかの問いかけがあり、賛否を問う方法について議論。
  - ・ 挙手により賛否を確認。
 

運営ボランティア総会の必要性についての採決	
結果	1. 反対 7票
	2. 賛成、 96票 (+委任状163票=256票)
  - ・ 多数多数にて本案は可決された。

- ・ このあと運営委員長から以下の動議が提出されました。
  - ① 運営委員会に対して総会の規約(案)を検討するように指示してほしい。これに対して、以下の付帯意見が出された。
  - ② 運営委員会の規約の中で、第11条規約の改廃で総会の承認をえるとなっている。ここは、過半数又は、3分の2以上というように具体的に文言を入れてほしい。
 以上については、②の意見を踏まえて、①の検討を運営委員会が中心となって進めることに決まった。座長・ 以上を持ちまして、本日の運営委員会より提案された議案について終了させていただきます。次に各部会より報告をお願いします。 各部よりの報告(別紙)

以上

# 平成18年度研修会開催

全員集会に先立ち、同日午前10時から12時まで、港北消防署より消防署署員8名に講師としてお出いただいて、救急法の研修会が開催されました。今回の研修会は、“あなたの行動で救える命があります”というキャッチフレーズで、日産スタジアムでも各所に設置してあるAED〔自動体外式除細動器〕についての知識を習得するための「心肺蘇生とAED〔自動体外式除細動器〕の取り扱い方」を、参加者全員が実践しながらの真剣で熱心な内容で受講されました。

講習内容概 ①意識の確認→肩をたたいて『大丈夫ですか』など3回呼びかける ②助けを呼ぶ→『誰か来てください』大きな声で応援を呼び119番とAEDを依頼する ③気道の確保、呼吸の確認→ 傷病者の口と鼻に耳を近づけ、呼吸の確認を行う④人工呼吸、循環のサインの確認→ 気道確保を行い、鼻をつまんでゆっくりと息を吹き込む。⑤心臓マッサージ、人工呼吸→1分間に100回のリズムで15回心臓マッサージを行う。



⑥AEDが到着しだい、AEDを使用。
   
こんなときにはAED ① 蓋を開けると電源オン ② 電極シールを体に貼る ③ 放電ボタンを押す

# 平成18年度交流会開催

研修会・全員集会と精力的に行われた最後の日は、ボランティア全員がお楽しみの豪華賞品付きの交流会が賑やかに開催されました。参加者数：106名 運営 78名、見学 21名 合計 99名
   
ご来賓：マリノス(株)2名(暈良基様、森川晃様)スタジアム5名
   
交流会開会に先立ち、我々ボランティアのスタート時から数々お世話になった木村副場長と、昨年12月に目出度く結婚された宮崎ボランティア担当のお二方へ、記念品贈呈のセレモニーがありました。



木村副場長「まだ先のことですが、このような物を頂くといよいよその時がきたのかな、と思います」
   
宮崎さん「昨年12月に結婚しました。名前が変わりましたが、スタジアムではそのまま宮崎です」その、熱い熱い新婚の宮崎さんの乾杯の音頭で、冷えたビールが全体集会の熱心な議論で乾いたのどを潤し、賑やかな交流会が開催されました。1時間少々短い時間での開催なので、皆さん急ピッチで飲み且つ食いで、瞬く間にオードブルの大皿が平らげられ、高級シャンペンの大瓶もあっという間に飲み干されました。はマリノス(株)ご提供100点以上の豪華賞品抽選会で全員大喜び!!!いつもお世話になっておりますマリノスさん、本当に有難うございました。

運営委員会 活動報告

運営委員長 横塚雅実

先の全員集会で運営委員長を拝命しました。今後引き続き1年間、与えられた課題に対して精一杯、取り組んでまいります。

さて、今年度の課題は以下の3点です。まず、①「総会」の規約をつくり、あわせて私たち運営ボランティア組織の大枠を検討します。また、先の全員集会で報告した、②「アンケート結果を踏まえた活動改善の方向性」を一つひとつ具体化していきます。更に皆さんが今後とも積極的に参加いただけるよう③部会活動の見直しを進めてまいります。今年度は、横浜FC戦の運営ボランティア活動が加わる一方、活動応募人員が毎回80~100人程度にとどまるという状況が続いています。この不具合を克服するためには、引き続き「魅力ある運営ボラボランティア活動を再構築する」ことが重要と考えています。これを目標として、運営委員一同3つの課題に取り組んでいきますので、何卒、ご協力のほどお願い申し上げます。

全員集会以降の活動経過

運営委員会会議開催 平成18年度第9回 平成19年2月25日(日)
平成19年度 第1回 平成19年4月1日(日) 第2回 平成19年4月29日(日)
第3回 平成19年5月19日(土)

募集します

スタジアムボランティア体験活動&Jリーグオールスター参加者募集!

研修交流部から2つの活動体験ツアーを企画いたしました。皆さまお誘いのうえのご参加をお待ちしています。

1:6月23日(土)川崎VS磐田 15:00キックオフ 等々力競技場
今や強豪クラブでありながらも、地域密着型は相変わらずローカルな雰囲気も残る、川崎フロンターレ。お隣りさんと一緒に初夏の等々力で一日ボラ活動をしてみませんか? 試合終了後はもちろん、懇親会もあります。 募集定員...10名 弁当支給

2:8月4日(土)Jリーグオールスター キックオフ時間未定 エコパスタジアム(旧静岡スタジアム)
「選手がオールスターなのだから、ゲームの運営も各クラブのボランティアさんに参加してもらって一緒に活動することはできないだろうか?」ということがきっかけとなった、ボランティアが集まる年に一度の祭典です。全国から100名以上の仲間との大宴会も楽しみです。

募集定員...15名程度 弁当、ユニフォーム支給 夜の試合になると思うので、マイカーで来られる方以外は1泊となる可能性大です。翌日ミニ観光も計画中です。

申し込み、ご質問等は事務局まで

※ 交通費、宿泊代、宴会代などはすべて自己負担となります。ボランティア保険には加入済みです。定員になり次第受付終了といたします。希望の方には昨年の模様のCDをお貸しいたします。なお、この企画はボランティア有志の自主企画です。



次号予告 「ボランティア活動を10倍楽しくする方法」「家族で、夫婦で楽しいボランティア活動体験記」 近くご家族、ご夫婦の皆さんに突撃インタビューしますので宜しくお願いします。皆さんの楽しい記事、苦言記事、提案記事など、ハガキでどしどしお寄せください。待ってまーす。

編集委員募集! 今後は更に紙面、内容ともに拡充していきたいと考えておりますので、是非とも編集に興味のある方、紙面を楽しいイラストで飾ってみたいと思われる方、どうぞ「ボランチわ」の編集にご参加ください。ボランチわ編集担当(大家)まで



INFORMATION

<6月以降のボランティア活動予定表>

Table with 5 columns: Date, Day, Event Name, Meeting Time, Match Start. Rows include J-League matches like Yokohama FC vs Jubilo Iwata and Yokohama FC vs Gifu.

プロジェクトV活動報告&お知らせ

ボランティアの皆さんいつもプロジェクトVにご協力いただき有難うございます。昨年の活動実績の報告と本年度第1回活動のお知らせです。本年もご協力宜しくお願いいたします。

活動実績: 18年7月23日 vs アビスパ福岡 ご招待 障害者地域活動ホーム「しもだ」 11名
7月30日 vs アルビレックス新潟 ご招待 ラポール「えくぼFC」 20名
11月26日 vs 大分トリニータ ご招待 同愛会PWL-FDIサッカー部 20名
本年度第1回 6月30日横浜 FC vs ジュフ千葉 ご招待はボランティアの志方さんが代表をされている相模原市の知的障害者サッカーサークルFC松ヶ丘の皆さんです

部会からのお知らせ

- リーダー部会: 只今リーダー部会員は総勢15名でフル回転で活動に頑張っています。常時15名が活動できるとは限らないので、毎回、元リーダーの方にも応援をお願いしている現状です。
研修交流部会: いま、夏の研修会に「良いリーダーとは」のテーマで計画を立てています。皆さんからグッドアイデアをお寄せください。
イベント部会: 今年もボランティア交流として毎年恒例のバーベキューを企画準備しています。
情報部会: 引き続き愛される「ボランチわ」を発行していきますので、編集メンバーを募集しています。

お知らせ
次回の総会・研修会の開催を7月16日(月・祝日)に予定しております

編集後記
ボランティア発足から一緒に歩んできました木村副場長が退職され、4月から新しく小山副場長を迎えた節目の本誌発行となりました。木村前副場長には、本誌のご挨拶にもありましたように、私たちボランティアと一緒に活動ができる日を是非とも迎えたいと思います。(大家)

発行・編集 日産スタジアムボランティア ボランチわ編集担当
〒222-0036 横浜市港北区小机3300 日産スタジアム Tel 045-477-5030 Fax 045-477-5002